

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.208

2023. 2. 1

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

すすめよう！「憲法改悪を許さない全国署名」 岩手の署名は、18,207 筆（～1 月末。うち郵送 312 通・1,214 筆）

◇返信用封筒もありますので、地域配布等に活用ください。希望の団体は岩手県生協連まで。

ウクライナ戦争を理由に再稼働なんて許せない！

「戦争と平和を語る映画のつどい」開催

—松園9条の会—

昨年暮れに、岸田内閣は国会で審議することもなく、国民にだまって「安保関連 3 文書」を閣議で決めてしまいました。歴代内閣が守ってきた「専守防衛」を転換して「敵基地攻撃能力」を持つこと、復興予算まで使い込む軍事費の大拡大。こんな危険で大事なこと、憲法 9 条に真っ向から逆らうものを許していいものでしょうか。同じく原発回帰の政策も打ち出しましたが、とんでもないことです。

昨年 12 月 4 日、「戦争と平和を語る映画のつどい」を開き、48 人が参加しました。当日は、映画「原発故郷 3650 日～福島・それぞれの現在」を鑑賞。福島第一原発の事故から 10 年たち。あらたな産業・スポーツ施設はどんどん建っていますが、福島県では児童虐待などのDV被害の件数が 10 倍に増加、若者の自殺率も全国 1 位。被災者の置かれた切実な現状やその背景、本来の復興の在り方に迫りました。

参加者からは、「なごみの方々が一人一人に寄り添っている姿に胸がいっぱいになりました。お金や生産の見とおしが困難な地域が狙い撃ちされて原発がつくられたこと、今の大軍拡や統一協会問題にも共通する許しがたい思いを感じました。」（60 代女性）、「あれから 11 年たつのに、まだまだ問題がありますね。防衛費なんか増やさないで、福島の海を守るために税金を使ってほしい」（70 代女性）などの感想を話していただきました。

（小林紘一）



学習や宣伝に活用ください！

無料で差し上げますので、ご希望の部数を岩手県生協連までお知らせください。

①9/20 市民アクション岩手の会学習会 講演録

昨年 9/20 開催の小笠原基也弁護士による市民アクション岩手の会学習会「岸田政権のこれからの改憲策動とどう戦っていくのか」の講演録。

②あすわか 憲法リーフレット 2 種

あすわか（明日の自由を守る若手弁護士の会）で作成の 2 種類のリーフレット「憲法が変わっちゃったらどうなるの？～自民党案シミュレーション～」「イマドキの憲法のはなし」。

⇒右記



憲法改悪、軍拡、軍事費倍增、敵基地攻撃能力保有に反対！

緊急集会 & デモに120人参加

ー市民アクション岩手の会ー

平和憲法・9条をまもる岩手の会も参加している「市民アクション岩手の会」では、1月20日に緊急集会を開催。安保関連3文書の閣議決定や防衛費拡大に抗議しました。幹事団体の代表や、市民からの怒りの1分スピーチも実施。「専守防衛の原則を大きく転換するもので憲法違反」「防衛費より社会保障の拡大を」などと訴えました。集会後に盛岡市内をデモ行進し、市民にアピールしました。



また、市民アクション岩手の会では、安保関連3文書の閣議決定と軍事費増強による戦争する国家づくりの推進に抗議する声明を発表しました。安保関連3文書改定の撤回と、軍拡より憲法前文と9条をいかした平和外交で世界の軍縮と平和の追求を求めています。

また、市民アクション岩手の会では、安保関連3文書の閣議決定と軍事費増強による戦争する国家づくりの推進に抗議する声明を発表しました。安保関連3文書改定の撤回と、軍拡より憲法前文と9条をいかした平和外交で世界の軍縮と平和の追求を求めています。

声明文は岩手県生協連 HP でもご覧になれます。

URL <http://iwate.kenren-coop.jp> 二次元コード⇒



コラムー “戦争か平和か、いずれの道を歩むべきか、日本はその岐路に立っているのです”ー

いきなりですが、これはある大学・弁論部の「模範台詞」の一つであります。今も使われていると思いますが、コラム子が現実に今この「台詞」に直面するとは思いませんでした。

新年早々岸田首相は1月13日（日本時間14日未明）、米ワシントンのホワイトハウスでバイデン米大統領と会談しました。

その要点は岸田首相からの「報告」を基に①日米共同で敵基地攻撃を行うことを首脳レベルで合意、②日本の「防衛力の抜本的強化」と「防衛予算の相当な増額」の決意＝日本政府の空前の大軍拡＝を同大統領が称賛したことあります。

これは、岸田首相は「国民的議論」もせず、「国会審議」にも諮らず、一片の「閣議決定」のみで、戦後歴代自民党政府でさえ維持してきた「専守防衛」の安保政策を「大転換」し、この「国」を「敵基地攻撃能力」を備えた「戦争国家」に変質させてしまったことを示します。

日米安全保障条約下の「日本国」とはいえ、日米首脳会談で岸田首相のやったことは「露骨」で「卑屈すぎる」外交姿勢ではないでしょうか。また「主権在民」の日本国民をないがしろにしたものと思います。今国会での「審議」に注目しなければなりません。

今回のコラムは日米首脳会談の「要点」をしっかりと確認し、みんな活動に少しでも役立てようと短文にしました。(T)



「2月の街宣署名行動」

9日(木)12:15～12:45

盛岡市大通・野村証券前

「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけます。

ご都合のつく方は、ぜひご参加下さい。